

特集

宇野議員・村上議員が聞く

一般社団法人竹原青年会議所

『たけはらご当地カルタ』が大好評！
メディアにも多数取り上げ
られています。

Q 竹原青年会議所は、どのような活動をされていますか。

現在、正会員12名、賛助会員8名の20名で活動しています。竹原青年会議所は、単年度制で毎年方針が変わりますが、地域の課題や問題について考え、竹原の今に取り組み、竹原の明るい豊かな未来を描きながら、個々の成長を目指して活動しています。

Q 何を大切に活動されていますか。

令和6年は若者の交流と地域のブランディングという大きく分けて2つの運動に力を入れて取り組みました。①スポーツ推進委員会を設け、マルチスポーツの推進に力を入れ「大人の大会童会」「マルチスポーツ体験会」を企画し、ピースリーホームバンブー総合公園で実施しました。

②竹原市の魅力を再発見し、形に残そうということで、たけはらリブランディング推進委員会として「たけはらカルタ」を作成しました。今後、竹原市内の各学校や関係各所に配布を予定しています。



第59代理事長
藤川 裕員さん



第60代理事長
山村 道雄さん



Q これからの目標を教えてください。

竹原市に寄り添った活動をしていきます。未来に視点を向け、10年後、20年後の姿を想像しながら、将来のまちを盛り上げる仕組みや環境を創造していきたいと考えています。

Q 現在、力を入れていることは何かありますか。

正会員は20歳から40歳までの年齢制限があり、40歳になると卒業しなくてはならないため、会員数の減少が僕たちの課題となっています。人材の発掘と育成というところで一緒に活動してくれる若者を探しています。

Q 竹原市との連携などがあれば、お聞かせください。

若者交流促進補助事業として補助金を活用し、令和6年は初めて「大人の大運動会」を行いました。過去には恋活パーティなども企画、実施し、60組以上のカップリングをお手伝いしましたが、結婚し市外に出ていかれるカップルが多かったため、大運動会のような交流のきっかけ作りが大切だと再認識しました。今後も竹原市と協力し、若者が帰ってきたくなる取組をしていきます。

Q 竹原市への要望などがありますか。

竹原市や市議会の方々には、もっと青年会議所との意見交流の場を作っていただきたいです。実際に活動をしている若者の視点や想いなど、様々な視点から竹原市が抱えている課題解決についても意見交換していけると思います。

Q 最後に一言

これからも若者の交流を増やしながら、市民、行政、企業とも連携をとり、皆様にも積極的に青年会議所が開催するイベントに参加していただきたいと思います。大運動会のような大人も子どもも楽しめる事業を企画していきますので、ご参加いただけますと幸いです。

